

香川高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	数学 I B	
科目基礎情報							
科目番号		241104		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		建設環境工学科 (2019年度以降入学者)		対象学年		1	
開設期		前期		週時間数		4	
教科書/教材		啓林館「ステップアップノート 数学Ⅱ」「Focus Gold Smart 数学Ⅱ」実教出版「高校数学I」「高校数学Ⅱ」「新編数学Ⅱ」「高校サブノート 数学I 新課程版」「高校数学I専用 スタディーノート 新課程版」「高校数学Ⅱ専用 スタディーノート 新課程版」					
担当教員		佐藤 文敏					
到達目標							
1. 実数, 整式, 分数式, 複素数, 2次方程式, 高次方程式に関する基本的な問題を解くことができる。 2. 指数, 対数に関する基本的な問題を解くことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1		実数, 整式, 分数式, 複素数, 2次方程式, 高次方程式に関する問題を解くことができる。		実数, 整式, 分数式, 複素数, 2次方程式, 高次方程式に関する基本的な問題を解くことができる。		実数, 整式, 分数式, 複素数, 2次方程式, 高次方程式に関する問題を解くことが出来ない。	
評価項目2		指数, 対数に関する問題を解くことができる。		指数, 対数に関する基本的な問題を解くことができる。		指数, 対数に関する問題を解くことが出来ない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-1 学習・教育到達度目標 C-2							
教育方法等							
概要		実数, 整式, 分数式, 複素数, 2次方程式, 高次方程式, 指数, 対数について学習する					
授業の進め方・方法		教科書に沿って基本事項と例題を解説した後, 各自練習問題を解くという形式で講義する。適宜, 提出課題などを課す。					
注意点		数学は積み重ねの科目なので, 授業で理解できなかったことは放置せずしっかり復習をして理解すること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	実数			実数の分類を理解する。既約分数と循環小数の表し方を理解する。絶対値の値を求めることができる。	
		2週	平方根, 2次方程式と実数解			平方根に関する演算ができる。2次方程式の実数解を求めることができる。	
		3週	整式の乗法, 因数分解			3次式の展開や因数分解ができる。	
		4週	整式の除法, 分数式			整式の割り算や分数式に関する演算ができる。	
		5週	複素数			複素数に関する演算ができる。	
		6週	2次方程式と複素数解			2次方程式の複素数解を求めることができる。	
		7週	高次方程式			因数定理を使って、高次方程式をとくことができる。	
	8週	中間試験					
	2ndQ	9週	指数の拡張			正の整数に関して指数法則を用いた計算ができる。	
		10週	整数の指数, 累乗根			整数の指数や累乗根に関する演算ができる。	
		11週	有理数の指数, 指数関数			有理数の指数や指数関数に関する演算ができる。指数関数のグラフをかくことができる。	
		12週	指数方程式・不等式			指数方程式・不等式を解くことができる。	
		13週	対数			対数に関する演算ができる。	
		14週	対数関数			対数関数に関する演算ができる。対数関数のグラフをかくことができる。	
		15週	対数方程式・不等式			対数方程式・不等式を解くことができる。	
16週		期末試験					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	数学	数学	数学	整式の加減乗除の計算、及び因数定理等を利用した簡単な因数分解ができる。	3	前1	
				分数式の加減乗除の計算ができる。	3	前1,前4	
				複素数の相等を理解し、加減乗除及び絶対値の計算ができる。	3	前5	
				解の公式等を利用して、二次方程式を解くことができる。	3	前2,前3,前6,前7	
				因数定理等を利用して、高次方程式を解くことができる。	3	前6,前7	
				恒等式の考え方を活用できる。	3	前7	
				累乗根や指数法則を利用した計算ができる。	3	前9,前10,前11	
				指数関数の性質及びグラフを理解し、指数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。	3	前11,前12	
				対数の性質を理解し、対数の計算ができる。	3	前12,前13	

			対数関数の性質及びグラフを理解し、対数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。	3	前13,前14,前15
評価割合					
	試験	レポート		合計	
総合評価割合	90	10	0	100	
評価項目1	45	5	0	50	
評価項目2	45	5	0	50	